

A background of a pink ribbon, partially forming a knot, set against a light grey background. The ribbon is the central visual element, symbolizing breast cancer awareness.

KINDAI CARELINK

February.2022 Vol.25

KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL 地域連携広報誌

2021年10月START 日本初導入“CORI”



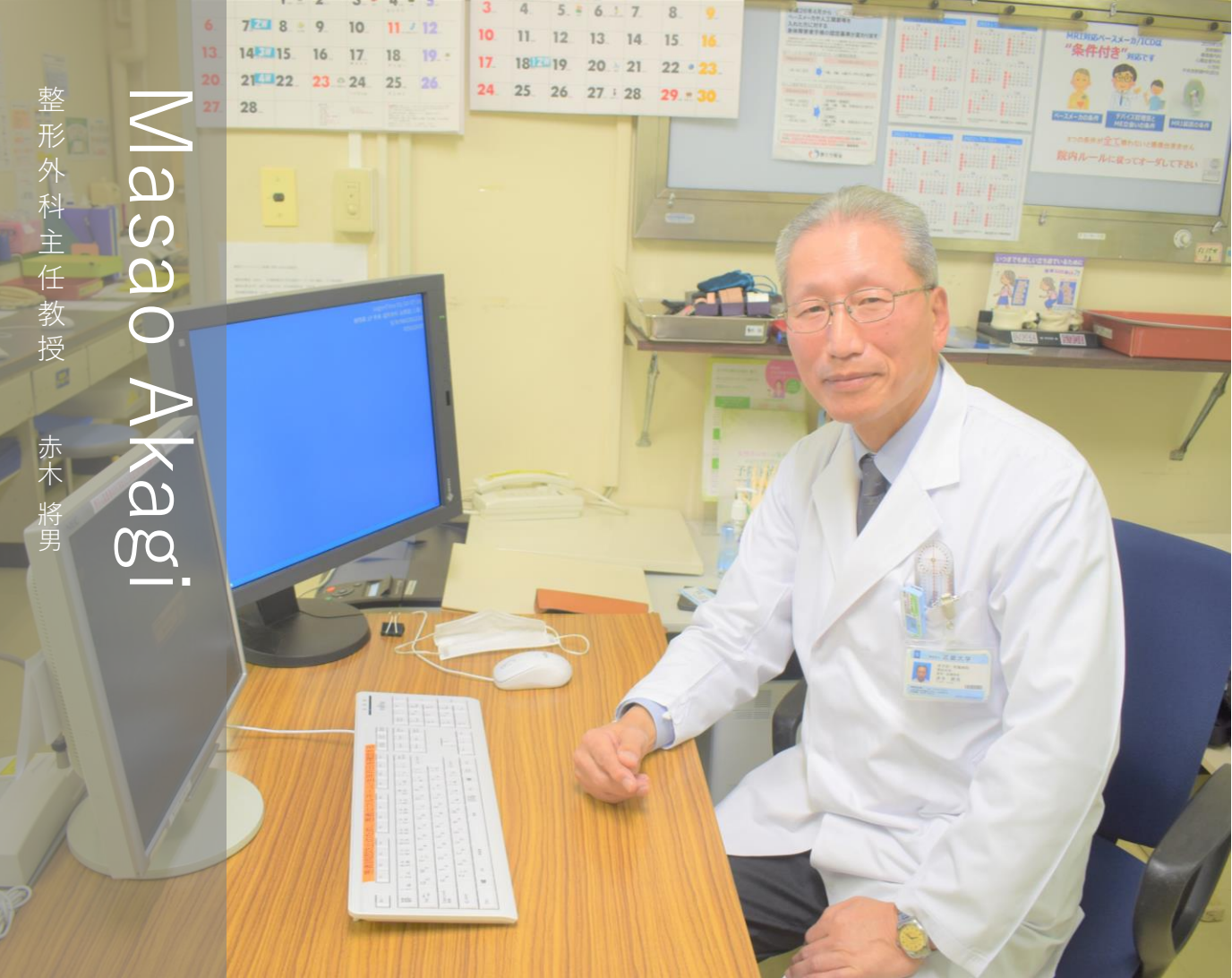
変形性膝関節症・関節リウマチ・スポーヤ
外傷による後遺症などに対する
人工関節置換術に用いる
次世代型ロボット支援手術システム



整形外科主任教授

赤木 将男

Massao Akagi



我々のモットーは、患者さんの積極的な社会参加、すなわち、「人生」を支援することです。

そして、関節、脊椎、手の外科・上肢、腫瘍、外傷の5つの専門グループがハイレベルな活動を展開しています。特に、関節班の膝関節ロボット手術（CORI）、脊椎班のナビゲーション手術（Artis Zeego）は国内外でも最先端です。

また、腫瘍班は運動器原発の悪性腫瘍のみならず、様々な診療科と連携して転移性骨腫瘍の治療（がん口コモ）に取り組んでいます。

Profile

1983年 京都大学医学部卒業
京都大学医学部附属病院、京都市立病院、
郡立高島病院、倉敷中央病院で
整形外科医としての修練を積み、
京都大学医学部整形外科学 助教
2000年 カリフォルニア・ロマリダ大学
人工関節摩耗学研究所勤務を経て、
2001年より近畿大学医学部整形外科学 講師
2012年、整形外科主任教授着任
2020年より医学部教育センター長（兼務）

Qualification

日本整形外科学会専門医
日本リウマチ学会専門医
日本人工関節学会専門医

趣味：ゴルフ、映画観賞

学生時代は医学部硬式テニス部に所属し、
シングル・ダブルスNo.1を2年間、
キャプテンを1年間つとめ、
西医体シード権を獲得しました。
主任教授就任後は医学部合気道部部长、
現在はシングルを目指してゴルフに取り組んでいます。



乳腺・内分泌外科



連携医と協力し
患者さんの目線で
患者さん本位の治療を
チームで支える

乳腺・内分泌外科 乾浩己
いぬいクリニック院長

×

乳腺・内分泌外科教授
菰池佳史





乳腺外科 教授
菰池 佳史

乳腺・内分泌部門では、常に最新・最善の医療を提供するとともに、患者さん目線であることや、院内外を問わないチームワークづくりを目指して日々臨床に取り組んでいます。

約190の新規乳癌症例を含め、年間約220の手術を行い、乳癌手術症例では地域医療連携パスを使用して、連携医の先生方のご協力をいただきながら、術後長期にわたるフォローアップを包括的に質の高いものになりたいと思っています。

患者さん・連携医の先生方・当科3者にとって益のある連携のために、今後ともご協力のほどをお願いします。

(写真はいぬいクリニックの乾 浩己院長と情報共有している場面です。乾先生とは非常に“アットホーム”な雰囲気です。)



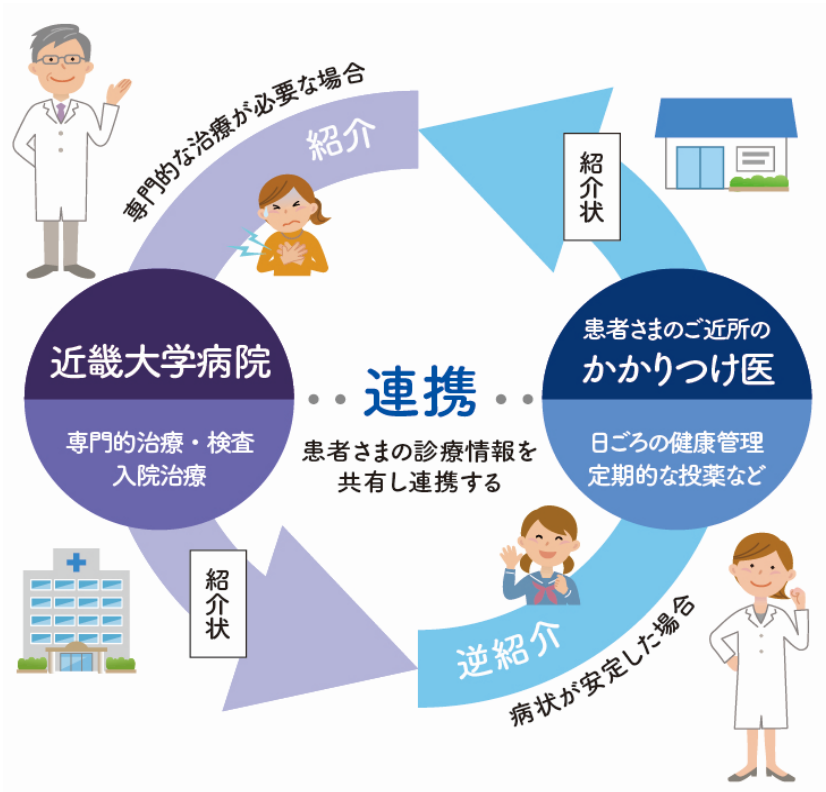
乳腺外科 准教授
位藤 俊一



乳腺外科 医学部講師
新崎 亘

当院での治療により症状が安定した後は、“かかりつけ医”で治療を継続していただけるように逆紹介を促進しております。

当院と連携している「かかりつけ医」を、簡単に探せるように【かかりつけ医検索システム】を導入しております。



POINT

患者さん自身のスマートフォンから閲覧可能

- ☑ 豊富な検索機能
- ☑ 連携先絞り込み
- ☑ フリーワード
- ☑ 駅
- ☑ 現在地
- ☑ 診療科
- ☑ 診療日

etc...



検索はこちら



Introduction of medical corporation system

連携登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病病連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

ICT を利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報（カルテ情報、画像、レポート等）の共有が可能になります。情報提供施設（近畿大学病院）は、「SS-MIX2 標準ストレージ」にデータを出力し、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開（24時間情報閲覧可）

セキュリティについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間は IPSec-VPN を利用して高度なセキュリティが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。
【パソコンの環境条件】については、お問い合わせください。

情報参照していただけるもの

●病名 ●処方歴 ●検歴 ●各種オーダ情報 ●サマリー ●画像情報 ●各種レポート

その他

- ・当院へ通院歴のある患者から同意をとっていただき、同意書を近畿大学病院地域連携課まで FAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開します。
- ・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。（診療情報提供料（I）を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ）
- ・2018年8月よりこのシステムを利用し、常時診察予約を取得いただける機能を追加いたしました。



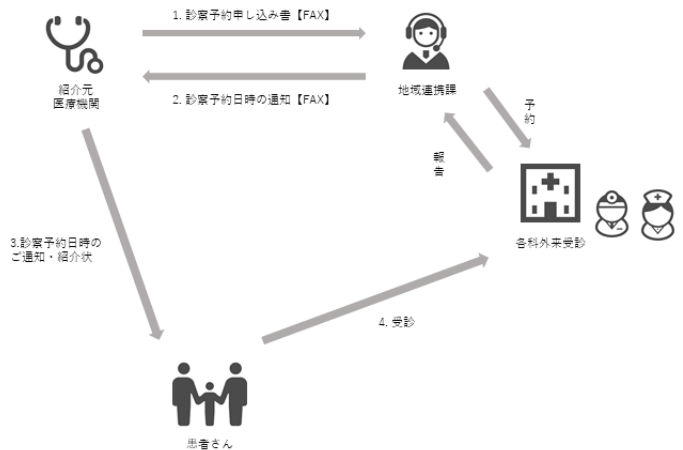
ご希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。



紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願いいたします。
2. 患者さんのご希望の日時で予約をとり、「診察予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
(平日20時まで対応いたします)
3. 患者さんに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



* ICT地域医療連携ネットワークシステムを導入いただきますと常時診察予約が可能です。

地域連携課 直通TEL **072-366-0241** FAX **072-365-7161**

【受付時間 9:00-20:00】

(紹介予約に関するお問い合わせ)

緊急患者紹介方法について

地域連携課 【受付時間 9:00-17:00】

072-366-0257 直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送

救命救急センター 【24時間体制】

072-366-0250 重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療

脳卒中コール 【24時間体制】

072-366-0920 脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

ハートコール 【24時間体制】

0120-145-810 狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

周産期コール 【24時間体制】

072-366-0133 産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さんで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さんをお迎えにあげます。

ハートコール 心臓血管センター 【24時間体制】

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)